

令和元年6月26日付【日本下水道新聞】
第38回総会 間山、本名氏が副会長に
＜新計画の下、事業展開＞

新計画の下、事業展開

協水コン
第38回
総会 間山、本名氏が副会長に

総会では、昨年度の事業と決算、今年度の事業計画と予算に関する報告の後、役員の補欠選任などを行った。

昨年度は4月1日付で公益社団法人に移行し、公益目的事業として調査研究や事業体への要望活動、人材育成、災害時支援などに注力した。今年度は「人材確保支援」「技術・品質・倫理向上支援」「多様な官民協働の促進」の3本柱を継続しつつ、新中期行動計画に基づく事業を展開する。

役員改選では、間山一典社長(日水コン)・本名

元社長(日本水工設計)、藤本裕之資源循環研究部副部長(日本下水道新技術機構)、岩部秀樹顧問(日本下水道施設管理業協会)の4氏が理事に選任された。このうち間山・本名両理事は、その後の理事会での互選により副会長に就任した。

新任役員あいさつで間山副会長は、改元と改正水道法の施行、新中期行動計画を挙げて「新しい時代の始まり」とし、「これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦」という協会のビジョンがますます重要になる。誇りが持てる職業

であることを社会に、特に若い方に伝えなくてはならない」との考えを示した。

退任役員からは野村前副会長(日水コン会長)が登壇。協会活動の中でも公益社団法人化が「職業としての尊さが認められた」点で特に記憶に残るとした。また、地域企業に一段と目を向け、強い協会を目指してほしいと激励した。